

「校長室」通信

第2号

都城市立姫城中学校だより

令和3年4月30日（金） 文責：校長 永山博一

「コロナ感染警戒区域・国レベル2」



校舎入室前（靴箱）に健康確認

4月26日（月）以降、都城地区は、「感染警戒区域（オレンジ）」「国レベル2」の地域になりました。その対応として、「国のマニュアル」に基づいて対応をしております。

5月14日（金）まで対応が続く予定です。

- 校舎入室前の検温・手指消毒
- 家庭で登校前の健康チェック（記入用紙 OR スマホ入力）
- 本人・家族に発熱やかぜ症状がある場合には出席停止
- 全校生徒が集まる集会等は実施しない。
- 部活動では、試合等の実施はできません。
校内練習は実施可能

一人一台パソコン（ICT活用授業）

国は本年度から「GIGA スクール構想」として、生徒一人一台のパソコンを導入する施策を実施しています。

姫城中でも、4月から2、3年生は、授業の中で少しずつ活用を始めました。

（1年生は6月末までに導入予定）

生徒・教師ともに不慣れで、その活用について学んでいかなければなりません。職員も研修と実践を積み重ねていきます。



3年生社会科での活用（検索中）

- ★ R3年度前期目標 ～ステップ0ゼロ～
- 教科書QRコード読み取り・コンテンツ活用
- アンケート機能を活用した小テスト
- カメラ機能を使った写真や動画による記録

校内時速10km以下走行を厳守ください

生徒の送迎、部活動送迎等で、敷地内を運転される保護者・ご家族（含：祖父母）の皆様、校内10km以下での走行厳守をお願いいたします。

生徒の命と安全を守ることが最優先です。また、車の事故にもつながります。

なお、けがや体調不良、通学路の安全等、各種事情がある場合には送迎は構いません。ただし、雨の日も含め、安易に送迎ではなく、歩くことで、体力向上や忍耐力を身に付けさせることも大切な学びだと考えます。



昨年 校門等4か所に看板設置1

防災教育（地震）を行いました。

4月30日（金）に各学級で、防災教育を実施しました。今回は、学校での避難経路だけでなく、学校以外の場所で地震が起きたらどうするかも学びました。

- ① 率先避難者たれ
- ② 想定にとらわれるな
- ③ その状況下で最善を尽くせ

校長の独り言「経験は、成長につながる」

大谷翔平（オオタニさ～ん）選手の活躍が日米の国民に楽しみと元気を与えてくれています。私も元気づけられている一人です。しかし、大谷選手は、3年前に肩の手術でシーズンは出場できず、つらく苦しいリハビリを乗り越えての大活躍です。つらい経験は人に優しくすることの大切さを教えてくれたり、悲しい経験が人の悲しみに寄り添える自分にしてくれたりします。もちろん成功体験は自信につながります。大谷選手も、全打席でヒットは打てません。10打席中7打席は、打てないのです。また、投手として毎回は勝てない。凡打や三振をし、打たれて負けを糧（かて）【力になる】にして、反省改善するから、次の活躍があるのではないかと思います。私達は、失敗やつらい経験をしますが、それは成長につながる「人生の宿題」だと思います。その時に宿題をやらずに先延ばしすると、さらに大きな失敗をするかもしれません。私も宿題をやらずに、困ったことがあります。我が家では、毎日TVで”オオタニさ～ん”を見ながら、「ご両親はどんな子育てをされたのかな」とか「お嫁さんになる方はどんな人かな」とか「ホームラン王になったら日本中が大喜びだろう」とか言って楽しんでいました。